

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

東山老人福祉センターの運営について

当センターは、高齢者の社会参加や介護予防を推進する施設として設置し、生きがいくくり・仲間づくり・健康づくり等の事業を実施しています。



施設の主な取組（概要）

- 生活、健康に関する相談
- 介護予防のための各種講座等の実施
健康体操、脳トレ、健康講座等を企画・実施し、健康長寿の推進、認知症の予防を図っています。
- 教養講座の実施
健康・福祉等に関する講座や、暮らし、趣味等の講座（折り紙、スマホ関連等）、認知症サポーター養成講座等、高齢者のニーズに応える内容の講座を開催しています。
- 地域との交流
地域の団体、関係機関と連携・協働して、多世代交流や施設間交流等を実施しています。
- その他事業の実施
囲碁・将棋や卓球、盆踊り、ぬり絵、歌唱等、高齢者が誰でも気軽に参加でき楽しめる内容の事業を提供しています。

施設の利用状況（概数）

年間約2.1万人の方々にご来館いただいています。

（令和5年度2.2万人、令和4年度2.0万人、令和3年度1.3万人）

施設運営に関する支出・収入（概数）【令和5年度実績】

来館者1人当たりには換算すると、上記の取組などによる年間の支出は353円（総額790万円）、国補助金等の収入は299円（総額667万円）です。

<支出：353円（総額790万円）>

施設運営費（人件費、講座開催費、施設維持管理費等）
353円

<収入：299円（総額667万円）>

国庫補助金等
299円

差額54円
市民の皆様からの税金を活用